

豪雪災害 除雪お疲れさまです 行政・町民で力を合せ 豪雪対策の確立を！

2月14・15日の豪雪（85cm）により、池田町も交通・ビニールハウス倒壊（17件）など大混乱に陥りました。広津・陸郷地区では一時孤立状態の集落も出ました。

行政・町民の皆さま災害対応・除雪作業お疲れさまでした。

私も家の前の除雪に汗を流しました。おかげで運動不足の解消ができました。

2月18日の議員協議会で町から豪雪災害の経緯について説明がありました。その概要は次のとおりです。

・町は主要な道路で車が通れることを目的に除雪を行う。豪雪の場合には町民総参加により除雪する。

・14日午後4時から除雪委託業者・自治会などに除雪の手配をお願いした。

・15日8時から全業者に協力依頼をした。

・業者から、除雪機のオ



写真：雪で覆われた町道

ペレーターのよそからの追加は期待できないと言われた。

・町民から様々な苦情が寄せられた。

例：税金を払っているのだから、行政が全て雪を片づける

池田町も「雪害に強い地域づくり」を進めなければならぬと思います。

今回のような豪雪災害には、動ける町民みなで行政と力を合せ対応しなければと思います。

自主防災会の活動項目に「雪害対策」も入れ、民生委員・PTAと協力して高齢者支援、通学路の確保、生活に必要な通路の確保などに動ける全町民での対応を検討すべきと考えます。

原村・諏訪市・塩尻市では、ビニールハウスの倒壊被害について助成措置をとることです。

池田町でも助成措置を要求していきたいと思っています。

議員研修で 沖縄県石垣市、沖縄本島の北中城村（きたなかぐすくそん）を視察

1月27・29日、議員視察研修で沖縄県石垣市、北中城村を訪問しました。

◎石垣市役所 「施設管理・すぐやる課」 （27日）

石垣市は日本の最南端の市（人口4.9万人）です。石垣市では、市民要望に迅速に応える窓口として3年前から「すぐやる課」を新設しました。その実施状況などを聞きました。

「すぐやる課」での受付件数は月平均48件、内容は道路の舗装・修繕（27%）、街路灯・防犯灯の新設・修繕（13%）蜂駆除（9%）樹木、小動物（死体含む）施設の整備・改善など様々です。

担当職員は3人で、受けつけてから関係課と連絡をとって、3日以内に解決の方向性を相談者に説明しています。

池田町で受付られた町民要望は総務課で仕分けされ担当課で対策が講じられています。町民要望が変化・多様化しているなかで石垣

市の「すぐやる課」の取組みは当町においても参考になる内容だと思いました。

「すぐやる担当部署」の設置を求めていると思います。

【写真説明】

市民と職員が腰掛けて座り、対面で目線を合わせ相談していました。当町でも参考になると思いました。



写真 石垣市役所での市民の相談風景

◎北中城村「福祉課、健康保険課」 （28日）

北中城村（人口1.6万人）は沖縄本島の中部に位置しており、「女性長寿日本一（89歳）」の村として有名です。同村の介護予防の取り組みを学びました。

同村では、「長寿には食事運動、休養、地域のつながり、社会への活動参加が必要」と考え、村を上げて取

組んでいます。

65歳以上の高齢者には、週1回の運動機能向上講座、80歳以上の健康で明るい女性3人をミス（美寿）北中城村として村の観光親善大使に任命するなど、村職員のアイデアに基づく独自の介護予防活動を展開しています。女性長寿日本一はこれらの活動に裏打ちされたものでした。

しかし、一方で65歳未満の死亡率が15%と高いことについて、本年度から「健康長寿の村づくり計画」に村を上げて着手していくとのことでした。

各課の事業も健康長寿の観点から取り組んでいます。村長・職員全員で取り組んでいる姿に感心しました。

【写真説明】

北中城村庁舎トイレ内に掲示されていた健康資料

